



南飛驒 ぼうさいかわら版

平成29年度役員紹介（平成29年6月26日、役員会に於いて互選）☆留任 ◇新任

☆会 長 中島良孝(北支部長 萩原.宮田区) ☆内木孝之(北副支部長 萩原.山之口区)

◇副会長 小畑和明(中支部長 下呂. 乗政区) ◇福澤辰之(中副支部長 下呂. 森区)

◇副会長 河尻正敏(南支部長 金山. 第2区) ☆杉山宣仁(南副支部長 金山. 中切区)

はぎわら防災クラブが、第4回「防災フェアin萩原」を主催

6月4日(日)消防団萩原方面隊の操法競技大会があさぎりグランドで行われ、同日にあさぎり体育館駐車場で萩原防災クラブ主催の「防災フェアin萩原」が催され消防団関係者や多数の市民が訪れていました。平成26年から萩原方面隊の操法大会の日に合わせて主催し、萩原地域自治会連合会、建築士事務所飛騨支部、LPG協会益田支部、木造住宅協議会、市社会福祉協議会、防災関係企業などの共催と、協賛後援に商工会や一般企業、下呂市、教育委員会など、すべての部門が手弁当で協力して行われました。

同クラブの展示ブースを始め起震車.煙体験.消火体験.萩原女性防火クラブや共催団体のブースが
建ち並び、操法大会出場のお父さんを応援に来た子供連れのお母さん達で賑わいを見せていました。

消防団といっしょ

入場無料

2017

防災フェアin萩原

6/4 (日)

午前9時～
あさぎりスポーツ公園

今だから見て、知って、触って、体験しよう!!

岐阜県の地震体験車がやってくる

震度7を体験しよう!!



煙体験ハウスで

避難体験

ハウスの内側は、目隠しシートで覆われ、煙体験は、目隠しシートを脱ぎ、煙体験ができます。(服装は短パン・Tシャツ推奨です)

放水体験

本場の火災でも使える軽便放水ポンプによる放水体験ができます。(服装は短パン・Tシャツ推奨です)

使用する軽便放水ポンプは、山林火災などで実際に使用されるものです。



岐阜県地震体験車

この機会にぜひご体験下さい。体験の出来る限り初期行動に違いがでます。CG画像と音響が振れられ、リアルな地震体験ができます。

地震が収まったら初期消火!!

水消火器を使って 消火体験

いざという時のために、消火器の使い方を覚えよう!!

無料で取り下した消防ポンプをどなたでもその場でポンププレゼント

あな熊本地震で活躍が目まぐるしい

災害ボランティアセンターの紹介

— 下呂市社会福祉協議会 —

地震発生時に知ってきたい

防災情報展

被災地情報(ラッシュニュース速報、工コムービー速報)と、注目されている市県別・地域別の地震発生状況についてなどをパネル展示します。

災害のための

防災企業展

自治会やご家庭で備えたい一流企業の防災グッズ・資材等を展示紹介いたします。

炊き出し訓練 大鍋で作った

特製豚汁 500食

無料配布



下呂市女性防火クラブ萩原支部

災害に強くなる

災害対策展

●地震発生時や火災発生時の応急・復旧防止対策の展示
●非常食やラジオ・モバイルグッズの展示
●消防団の活動の紹介・紹介があります。



同日開催 下呂市消防団萩原方面 消防操法競技会 (裏面)

主催 ぎざわら防災クラブ (第4回「防災フェアin萩原」実行委員会)

共催 萩原地域自治会連合会、下呂市女性の防火クラブ萩原支部、下呂市社会福祉協議会、下呂市木造住宅耐震協会、(社)岐阜県建築士事務所協会飛騨支部、岐阜県LPガス協会益田支部、桂川工業株式会社、丸新消防株式会社 他

協賛 萩原町商工会、飛騨技連、ぎざわe株式会社

後援 下呂市・下呂市教育委員会



はじめての地震体験、お母さんこわいよー！



消火器のヨーヨー落としは子供達に大人気



はぎわら防災クラブ
Hagiwara Disaster Prevention Club

設立趣旨要約

「東日本大震災の発生により萩原断層による大地震の懸念が更に増し、国内各地に発生する風水害・土砂災害など自然災害が多発している。消防団・行政機関が地域住民に防災指導をして地域防災活動が行われてきたが、大震災や風水害の記憶がしだいに住民の心から薄れ防災意識の低下が懸念されている。住民各自が自助の意識を持ち地域防災力向上の、情報発信を目的に設立する」

クラブ員(H29.5現在)は14名で萩原地域に在住して、現消防団顧問.現役消防団員.元消防職で、全員が防災士取得者で構成されています。

平成26年4月11日設立

会長 眞田 勝 事務局 今井浩平

富山県上市町へ研修視察（平成29年5月26日）

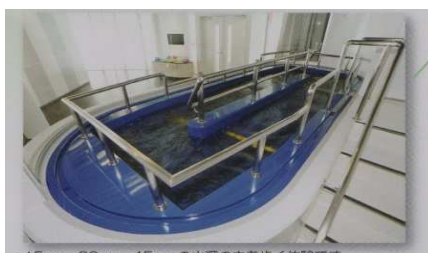
平成25年から相互防災協定を結んでいる上市町を、防災士7名が視察に訪問しました。町職員さんの出迎えを受けて、総務課長さんの歓迎の挨拶のあと相互に質疑応答を行いました。上市町からは、防災士2名、自主防災会長2名、消防職員1名、町職員2名で対応して頂きました。在籍する防災士は18名（女性3名）で、地域の防災リーダーとして活動されているとの事です。一般住民の防災意識高揚の工夫や防災訓練の運営など、共通する課題で活発な情報交換を行うことが出来ました。



（流水体験装置）

富山県の消防防災センター四季防災館を見学し、迷路の煙体験や暴風、地震、消火体験を行いました。

水深15cm、30cm、45cmの流水を歩く体験装置、エレベーター内に置いて便器になるエレベーターチェアも関心を引きました。



59年前の大水害、萩原の「33災」記憶にある方は何人いるでしょうか！

昭和33年7月下旬に飛騨地方を襲った集中豪雨は、当時吊り橋であった朝霧橋、益田橋、円通橋を押し流し、家屋の流失破壊が相当数あり、浸水家屋は数えきれないほどあった。



（泥海となった上村の松ヶ瀬バス停付近）



（流失寸前の円通橋と中呂大門付近）



（上村の住宅地に押し寄せる濁流）



（萩原側が流失した朝霧橋
付近の家屋数軒が流失した）



（益田橋の流失時に鋼線が切れ、なぎ倒された民家）

出典
はぎわら
文庫第6集

振興事務所のAEDが24時間対応の屋外設置となりました。

新年度の4月より各振興事務所の夜間休日の無人化に伴い、AEDが屋外に設置替えとなりました。収納箱は寒冷時にヒーターで保温し、高温時はファンで冷却が出来る性能を備えたものです。特に寒冷時の起動不良などの不安要素が解消されます。

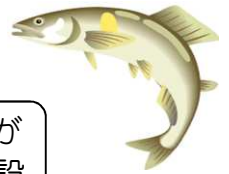
小坂振興事務所
裏口玄関ホール左側



一定温度以上に達すると
電動ファンが温度管理を
サポート!

一定温度以下に達すると
電熱ヒーターが温度管理を
サポート!

馬瀬振興事務所
玄関ホール右端(臨時)



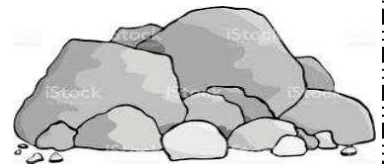
隣接する公民館の改修が
完了後公民館玄関へ移設



下呂振興事務所(市民会館)
玄関ホール右側



金山振興事務所
玄関ドアの右側
(夜間自動照明具備)



萩原振興事務所(星雲会館)
1階中央ホールに設置
屋外設置検討中
(6月1日現在)



おらんとこの自主防災（萩原町宮田区の防災体制作り）

宮田区防災隊は、正（区長）副（副区長）本部長と正副隊長を本部役員とし、情報管理・機材管理・交通誘導・救出消火・医療救護・食糧給仕の部会を置いています。部員の他に後方支援としての隊員を区民全員としています。防災会議は隊長が招集して、本部役員情報部員を始め各部員と消防団部長で区内の防災事業などについて協議を行っています。

また、防災隊とは別に専門的な人材による「防災指導員」の体制があります。

防災隊長と区内に常時居るもの2名（区長・民生・福祉委員経験者）と土木・造園・建設会社の代表者4名、2名（郵便局員・他）の計9名で、災害ボランティアや災害現場復旧などに精通し災害発生に素早く対応出来る体制づくりを目指しています。



（宮田区内・土木会社の建設重機）



（宮田区内・建設会社の資機材）



☆情報伝達用のデジタル無線機の整備

災害現場ではどのような状況であるのかを迅速に把握して、対応の優先順位なども考慮しています。

☆宮田区と隣接する大ヶ洞区・奥田洞区とのデジタル無線通信による連絡体制を平成28年に構築しました。

☆若年層の災害に対する関心を呼び起こし、情報・救護・救援などに小回りが出来るバイク隊の編成も提案中です。



（編集後記）

誌名とデザインを変更しました。役員会に変更を提案して変えないとしたのが5号編集時であった。が、その5号を印刷して紙の情報として、各振興事務所に置いて一般の人々にも配布を試みました。そこで、やっぱり思ったのが誌名と書体が超ダサイ！ ラックに並んだ他の紙面と比べ手に取って読もうと思うデザインに見えない(>_<)。で、6月26日の役員会に変更案を示して同意を得ましたのでご理解を頂きたい。変えない妥協より、みんなが興味を引くアイデアで近づく。

我々防災士が、無関心な人々に手を変え言葉を替えて、防災・減災を伝えるように。

（話題の提供をお願いします、防災に関わることなら何でもOKです！下記にご連絡を。）

E-mail tuneki-jh2oqm@seiryu.ne.jp ☎090-2578-1601 ラインOK 広報担当 金子恒紀

